

賑わいの第一歩が 踏み切れたかな



初代地域おこし協力隊員でブラックバス釣りのプロである村川勇介隊員は、妻の栄子隊員と一緒に大山湖畔公園で営業を始めた「週末カフェ」のほか、釣りイベントやソロキャンプなど、精力的に地域おこし活動を行っておられます。村川隊員は「ここに来た当初は不安だったが、地元の方をはじめ、多くの方が来てくれるようになり、やっと賑わいの第一歩が踏み切れたかなと思っている。今後この公園を拠点として様々な活動を企画し、更なる賑わいの場として美浦村を盛り上げていきたい。」と笑顔で話してくれました。



1st
村川勇介
栄子夫妻

N 特集 地域おこし協力隊・・・とは

都市地域から美浦村へ住民票を異動し、生活の拠点を移した方を「地域おこし協力隊員」として委嘱し、一定期間、本村に居住して美浦ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援を行っていただく方たちで、10月より松本隊員が加わり、活動する隊員は5名になりました。



「週末カフェ」の詳細は



地域の活性化に つながればうれしい

京都府の大学を卒業後、料理人として活躍されていた桂隊員は初代隊員の村川夫妻とともに、「週末カフェ」で料理の腕を振るい、地元食材を活かしたメニューの開発にも励んでおられます。

桂隊員は「地元の方をはじめ、村民の方には食材の差し入れなど協力していただき本当にありがたい。大山湖畔公園が一般公開されてから更にお客さんが増えて大変うれしい。こういった人と人とのつながりを大切にして、今後もお客さんに喜んでいただけるよう精進していきたい。」と話されました。まじめな桂隊員はメニュー開発に悩み気持ちが沈んだ時もありましたが、調理場に立つ現在の桂隊員は、自信あふれる料理人の姿でした。

最後に桂隊員は「食材は何処で買えるのか？」といった問い合わせも多く、みほふれ愛プラサ直売所等をお勧めしている。村全体の活性化にもつながればうれしい。」と地域おこし協力隊員として胸をはって語られました。



2nd
桂 典久

どこに**遊**びに行く？ 美浦行こっか！

競馬番組のリポーターなどで活躍されている南川隊員は、柔軟な地域おこしを展開されています。現在は未就学児ママ限定の「美浦ママヨガ教室」の開催やSNSを利用した美浦のPR、競馬や野球イベントのプレゼンターなど、活動は多岐にわたっています。なかでもヨガ教室は「もっと開催してほしい」「肩こりがとれた」「次回も楽しみ」などのフィードバックも多く、モチベーションに繋がっているとのこと。今後は古民家を活用した宿泊施設で、お父さんはゴルフ、お母さんとお子さんは乗馬や霞ヶ浦、湖畔公園の散策などで満喫していただき、夜は美浦の食材でBQ！ 美浦村を思う存分楽しんでいただける旅行プランを企画中だそうです。南川隊員からは「美浦村にきて多くの方にサポートしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。この村にはあったかい人ばかり。何よりも美浦の魅力は「人」そのものだと感じています。今後は、女性だけのゴルフ合宿やお菓子教室も開催し「来週どこ遊びに行く？ 美浦行こっか！」と気軽に来ていただけるような場所を作りたいです。」とのメッセージをいただきました。南川隊員の今後の活躍が楽しみです。



3rd
南川麻綾

LOCAL VITALIZATION COOPERATOR



4th
松本麻衣子

はじめまして 表紙の？です

新入隊の松本隊員は青年海外協力隊としてアフリカベナン共和国で農家への野菜栽培指導を行うなど、異文化交流の中で自然と農業にも深くかかわってこられました。

松本隊員は着任式場で「地域おこし協力隊の強みと国際交流、異文化交流のバックグラウンドをいかし、大山湖畔公園の観光地化を進めていきたい。大切にしたいのは持続性とコミュニティー。地域の人たちを巻き込んだ活動を重視しながら、まずは村を知るところから始めていきたいと思う。」と述べられ、中島村長からは「美浦村の子どもたちに海外での経験や文化の違いを伝え、子どもたちが未来に羽ばたいていけるような環境を作っていただきたい。」と松本隊員の活躍に期待されておりました。

今後の活動予定

- ・ SNSで美浦村をPR
- ・ 大山湖畔公園の観光地化を図るため指定管理者や地元の人たちと連携した事業の実施

